

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 実施期間 |
|---|----------------------------|------|-------------------|-------------------|
| 栃木県・栃木市 | (栃木県) 90000 (栃木市) 92037 | 1 | 平成19年度～ 平成23年度 | 平成19年度～ 平成20年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 田村寄居地区活性化計画は、栃木県栃木市田村寄居地区の受益 10.6ha を計画区域とし、農道を整備することにより農産物輸送体制が確立し、生産性及び農業経営の持続が図られる。これにより、農家人口の減少を抑制し、当該地域の安定化を促進するものである。 | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率 (%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|----------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 10.6ha | 10.6ha | 100% | |

(コメント)

計画作成時における目標値を100%達成できた。

また、農業従事者の減少、高齢化、後継者不足の中、平成17年度現在の集落農家戸数60戸に対し、平成23年度において10戸減の50戸にとどめることを目標としていた。

平成24年1月現在の集落農家戸数を、農業委員会選挙人名簿により確認した結果、6戸減の54戸にとどまっており、生産物輸送体制が確立したことで、農業所得の増加、農業従事者の経営意欲の向上が図られ、今後においても地域住民の定住化促進が期待できると思われる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-----------------------|--------|-----------|--------|
| 基盤整備 (農業用道路) | 農業用道路 L=1,090m W=4.0m | | | 栃木市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 栃木市 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年3月5日 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 農業用道路の整備により、生産農産物の輸送条件の改善が図られ、生産性の高い農業基盤の確立、農業従事者の経営意欲の向上につながった。 | | | | |

3 総合評価

(コメント)

《栃木県》

これまでは防塵舗装であるため、輸送条件が非常に悪い状況で営農されていたが、本地区の整備により従来の道路機能が向上し、安定した農業経営の持続、展開が図られている。

《栃木市》

農道の舗装をすることで、トマト等の園芸作物の輸送環境が改善され、生産性の向上や農業経営の安定が図られている。

4 第三者の意見

(コメント)

農道の整備により、農作物の輸送が容易になり、生産性の向上に効果があったと考えられる。

また、定住の促進について、今後も農業生産基盤施設の整備は必要であると思われることから、妥当な評価であると考えられる。

(栃木市農業委員会 会長)